

他力

— 住職便り —



第36号（令和八年三月）
専徳寺住職 弘中満雄

【山門修復】

お知らせ（32号）して二年過ぎました。親鸞聖人ご誕生850年（令和五年）、立教開宗800年、専徳寺の開基400年と本堂ご本尊300年。この四つの節目をご縁として専徳寺では慶讃法要を、そして山門と境内の修復事業を計画してきました。

総代会で何度も話し合いが行われ、今月、ついに実行委員会が立ち上がります。次回五月の寺報では「趣意書」をお届けする予定です。

【四つの門】

仏教で門といえば、お釈迦様ご出家前のエピソード、「四つの門（四門出遊）」を思い出します。



若き皇子だったお釈迦様は、ある日、家来と共にお城から外出されました。まず東門より出て老人にあいました。南門では病人にあって病いの苦しみを、西門では死者に。死の恐怖を知ります。老病死をわが事と真剣に悩まれます。最後に北門から修行者にあいました。それが機縁となり、お釈迦様は老病死の苦悩を解決すべく、王の道を捨て出家し、ついにお覺りを開かれます。そして約半世紀、たくさんのご説法をされました。四つの門は仏教の原点です。浄土真宗はその法門の中、「浄土門」、念仏往生・浄土の法を聞くみ教えです。

【入り口】

「この娑婆世界はお浄土ではありません。せん。しかしお浄土の「門の」入り口は、この娑婆に、この現実、この現前の一念にひらかれております。

あらためて申しあげます。あの世にはもはや、お浄土の入り口はございません。」（西元宗助）

苦悩を救う法は今ここにあります。修復事業は二年後を目指しています。その際にはご門徒皆様と山門を通り、本堂ご本尊の前で一緒に、浄土門を、他力のご法義を喜びたく思います。

（終）

〈今回はインターネットで〉

輝け！ 専徳寺

伝道掲示板大賞

【3月部門】



一月に続いて投票を開催します。

【投票のやり方】

- ① 下記のQRコードを読みこむ。
- ② 好きな言葉を3つ選択
◆ 1人1回の投票です
◆ 4つ目以降は無効
- ③ 名前と連絡先（電話番号）を記入して、「送信」ボタンを押す。
- ④ ×切りは3月14日です。



※QRコードがよめない方は、この度の法座にて紙で投票できます。

※抽選で参加者3名に粗品プレゼント。

※結果は五月の寺報でお伝えします。